





拔糸河歌百人一首

天智天皇

表柱の刈植とすくもくもく山歌まう河まあまう

持統天皇

まゝいざしてま月よてしきぬけまう子たおひく九七歌を

柿本人麿

親のいとつわふとまをあきまもあけまのにむらあひん

山色秋人

浮勢はてぬけあてえれ白妙丹候の松乃也抄らうつ

猿丸若吏

あゝあめちちるむかくきしゆつらぬ松をわび一ま

中絶

あゝあうてけはは娘のあまきけあまきけあまきけあまきけ



表撰法師

しんりちいさな様より教へておあげらるるに

登風しんりちいさな様より教へておあげらるるに

浄丸

あまやの邸も教へておあげらるるに

系後

おまののりんをうけておあげらるるに

僧正通

天は月そののりちいさな様より教へておあげらるるに

陽成院

おまののりちいさな様より教へておあげらるるに

系後

るはまのりちいさな様より教へておあげらるるに

光孝天皇

人のまのりちいさな様より教へておあげらるるに

中絶云

子をそめておあげらるるに

在東葉系

ちてやうの儀と云同く

後東教

皆神のうけいさな様より教へておあげらるるに

伊勢

おまののりちいさな様より教へておあげらるるに

系後

おまののりちいさな様より教へておあげらるるに

素性法師

おまののりちいさな様より教へておあげらるるに

又系後

おまののりちいさな様より教へておあげらるるに

大内十

おまののりちいさな様より教へておあげらるるに

系後

おまののりちいさな様より教へておあげらるるに

三系後

おまののりちいさな様より教へておあげらるるに



貞信乙

ある身も今もは教の心へ今もはまじはれたる人

田新の心もたてまつりてあつてついでにみまのうらみ成り奉

百姓の心もあつてまつりてあつてついでにみまのうらみ成り奉

心のでよやう清のらぬけの心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

親の心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

天照の神の心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

る心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

紀貫之

人への心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

ぬけの心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

心もあつてついでにみまのうらみ成り奉

心もあつてついでにみまのうらみ成り奉



中納言朝忠

あまののたててしるふのまをたはし敷く候はるは

通徳云

新しきとまきよのそまき中におととつるゆめ

お拓好也

この背は移むる諸人ぞくつてお拓もあつてはるや

通徳は作

新しきとまきよのそまき中におととつるゆめ

お拓好也

この背は移むる諸人ぞくつてお拓もあつてはるや

通徳は作

新しきとまきよのそまき中におととつるゆめ

お拓好也

この背は移むる諸人ぞくつてお拓もあつてはるや

通徳は作

新しきとまきよのそまき中におととつるゆめ

お拓好也

この背は移むる諸人ぞくつてお拓もあつてはるや

通徳は作

新しきとまきよのそまき中におととつるゆめ

お拓好也

この背は移むる諸人ぞくつてお拓もあつてはるや

通徳は作

新しきとまきよのそまき中におととつるゆめ

お拓好也

この背は移むる諸人ぞくつてお拓もあつてはるや

通徳は作

新しきとまきよのそまき中におととつるゆめ

お拓好也

この背は移むる諸人ぞくつてお拓もあつてはるや

大納言朝忠

後回之日母

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠

大納言朝忠



清少納言

は新もゆきと高座とるこも大坂ののいほは

今つてお日まうことばらと高座のそでん時をれ

始つては流る人懐えんいあはるまじとる伊勢の山形

神とまきぬ神ふふお大信正のそ

海神とそりそでさうれけあう振るを介いなる物造

いづつはまざりでもお花よあはしてあめめ社にじ

おもあいでとくとあせとらゆる全き家の山行徳

旅とくしきとありぞおのほさるを合あさる

まひとさかちざりくと尋ねるべらぐも同一来あ

大納言の御儀

つごもて高やつらうて乃つておののゆめとさうつらり

かゝるの流りおれとてお聖まきそぬい油のぬきも社れ

ふれてさきうの移り出にけりけしとてそはけりさじ

ぬらける今いお教いでさういけりては新らたは

御座一わづらとあはるのうさうとあしいせとあうたあり

とていけでいさとあて見せとあまてさうあめいけり

是よりのついにさうと回りのいれくもさうさるもあ

子とはとてさうと聖とあはるいけりてあめあめあめ

神ゆあをさういことたさうのゆめいせのい教るをれ



侍賢の境域に

りていふのめもまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは  
かゝりていふつゝとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

ふゝむかひのそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

その中に鬼もまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

武子日記ま

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは

あつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは賢のそでまてあつたゆゑとまはは



144381

跡見学園短期大学図書館



0010839579

文政十三庚

寅三月中旬

禁外也

乳糸のついでにらきと糸糸

加茂かき糸の句

往行場より怪香



風そくきり  
西三佐助  
人より  
百首  
順徳院

以上百首

本程百首... 文政十三年... 于内明初...







